

第 90 回天皇杯全日本選手権

学園大付高 大健闘！

1 回戦 佐賀大に勝利 2 回戦 ^{J2}鳥栖で全力プレー



サッカーの第90回天皇杯全日本選手権（日本サッカー協会、Jリーグ主催、共同通信社、NHK共催）は9月3日、47都道府県代表など88チームが参加して全国各地で開幕した。この日は1回戦の24試合を行い、県代表の学園大付高が佐賀大（佐賀）をPK戦の末に退けて初出場で初勝利。高校勢でただ1チーム2回戦に進出した。

5日の2回戦では、J2の鳥栖に0-10で敗れた＝写真。学園

大付高は両サイドへ展開する鳥栖にスペースを使われ、序盤から主導権を握られた。前半16分、左からのクロスでゴールを割られたのを皮切りに、前後半で各5失点。FW溝口がゴール前に攻め込む場面もあったが、シュート数は7-24と圧倒された。

鳥栖は警告3回とラフプレーもあったが、厳しいプレスで学園大付高に付け入るすきを与えなかった。

（熊本日日新聞から転載）

賛助団体会員

阿蘇の司 ビラパークホテル 株式会社 瑞恵 NPO 法人ブレイズ熊本サッカークラブ
株式会社 昌和機械工業所 スキルアップスクール JTB 九州熊本支店
クーバー・コーチング 株式会社ジョースマイル おべんとうのヒライ

天皇杯

学園大付高、初の天皇杯切符 P Kでルーテル高を下す

天皇杯全日本サッカー選手権予選を兼ねた第14回NHK杯県選手権最終日は8月29日、大津町運動公園球技場で決勝を行い、学園大付高が2-2からのP K戦(5-3)でルーテル高を下し、初優勝した。

学園大付高は前半6分、MF橋本隆治のパスを受けたFW溝口祐真が左足でけり込み先制。後半12分は再び溝口が左サイドからドリブルで中央に切れ込み、追加点を奪った。

試合は終了間際にルーテルが連続ゴールで同点に追い付き、延長戦でも決着がつかず、P K戦に突入。4人目が外したルーテルに対し、学園大付高は5人全員が決め、

熱戦に終止符を打った。(熊本日日新聞から転載)



4年ぶりに初戦突破 ロアッソ2発で逃げ切る

Jリーグ2部(J2)のロアッソ熊本は9月5日、KKWINGでJ2の愛媛を2-1で下した。前半は両サイドを使って幅広く攻め、主導権を

握った。23分に相手DFのクリアボールを拾ったFW松橋がそのままシュートして先制。7分後には相手DFのパスの乱れを突いて、再び松橋が押し込み2点差とした。



後半は運動量が落ち、一転して相手ペースに。途中出場した愛媛のFWジョジマールに突破を許すなど再三ピンチを招いた。しかし、GK南の好セーブや福王、筑城ら最終ラインが踏ん張り、1失点でしのいだ。

愛媛はミス絡みで失った2点を最後まで取り返せなかった。(熊本日日新聞から転載)

井 薫会長ブログ

OldDreamer の戯言

<http://kumamoto-fa.com/blog>

スポーツについて私なりの視点で感じることを綴っていきたい。勿論、熊本県サッカー協会のホームページだから、サッカーが中心になるのは当然だが、わたしの永年のテーマである「スポーツは文化なり」の実践という意味では、サッカーに留まらずスポーツ界の今日的現象を語り、斬る。と言ってもそんなに大上段に構えるつもりはなく、大好きな熊本に流れる「四季の風」をも折り込めたらと思う。

(2008年02月02日の第1回ブログから抜粋)



Category 2

インターハイ

ルーテル4強ならず 強豪、滝川二に逆転負け

インターハイのサッカー準々決勝は8月5日、沖縄県であり、ルーテルが滝川二（兵庫）に終盤までリードしながら逆転負け。初の全国大会4強入りを目前で逃し、MF城天平は「勝てる試合だった。ベスト4に行きたかった」と悔し涙を流した。



【ルーテル―滝川第二（兵庫）後半19分、先制ゴールを挙げて喜ぶルーテルの伊藤（8）】
＝つるま市具志川多種目球技場

序盤は何度か危ない場面を招いたが、前半20分すぎから反攻。生命線の豊富な運動量でピンチの芽を摘んでボールを奪うと、両サイドのスペースを狙った攻撃でリズムに乗った。

後半19分、前線で浮き球のパスを受けたMF伊藤卓が相手DF2人をドリブルで引き連れながら左足でゴール。「相手は運動量が落ちてきたし、2点目、3点目が入りそうな気配がしていた」と小野秀二郎監督。待望の先制点でがぜん勢いづいたはずだった。

しかし、直後の23分にセットプレーのこぼれ球を拾われて追い付かれると、続く28分にペナ

ルティーエリア付近から決勝シュートを突き刺された。インターハイ出場19回の強豪の底力を見せつけられた格好だ。

競り負けはしたが、1月の全国選手権に続く8強入りに「6合目まで来たかも知れないが、これから先が急こう配。当たり負けしないパワー、クロスの精度などをもっと磨く必要がある」と指揮官。MF村上裕亮主将は「最後に集中力が切れたことが敗因。体づくりにも力を入れて、もっと強いチームにする」と、冬の全国選手権出場を目指して進化を誓った。

（熊本日日新聞から転載）

インターハイ

ルーテル戦いの軌跡

【3回戦】2戦連発で“競演”

ルーテル 2－0 東海学園

ルーテルはMF嶋昂心とFW伊藤卓がそろって2試合連続ゴールし、1月の全国選手権に続いて8強入りした。

2回戦で後半ロスタイムにFKで決勝点を挙げたMF嶋は開始直後のFKで先制点。ゴールから約35メートルとやや距離のある位置だったが、「ゴール右隅を狙った。けた瞬間に入ったと思った」とニヤリ。

後半開始早々の追加点もFKから。前線へのロングボールがこぼれたところを伊藤が振り向きざまに左足ボレーで豪快にけり込んだ。チーム最多の3点目

を挙げた2年生ストライカーは「利き足は右だけど、左足もそこそこ自信がある。選手権はベスト4を逃したので次も絶対勝つ」と頼もしかった。

【2回戦】インターハイ初白星

ルーテル 3－2 宇和島東

ルーテルが劣勢をはね返してインターハイ初勝利。2－2で迎えた後半ロスタイム、約40メートルのFKを直接沈めて決勝点を挙げたMF嶋昂心は「時間がなかったから狙った。決まった時は最高だった」と声を弾ませた。

前半は守りを固めてカウンターを狙う相手の術中にはまった。ボールを持つ時間は長かったが、「スピードに乗った攻めができなかった」と小野秀二郎

監督。シュートは2本にとどまった。

息を吹き返したのは後半から。「運動量が少ない」と指揮官から活を入れられたMF城天平は「もっと走ること、積極的に仕掛けることを心掛けた」。4分、左サイドで相手DFを強引に振り切ってMF伊藤卓のゴールをアシスト。直後に1点リードを許したものの、25分には再び左サイドを突破し、伊藤の同点ゴールを演出した。後半だけでシュートは13本。積極的にゴールを狙う姿勢が勝機を呼び込んだ。

インターハイは2001年熊本大会以来9年ぶり2度目だが、先発メンバーのほぼ半分は1月の全国選手権で8強入りを

経験した強みがある。2得点を挙げた伊藤は「リードされても焦らず落ち着いてプレーできた」と胸を張った。（熊本日日新聞から転載）



Category 3

中学

第31回熊本県中学校サッカー総合選手権大会
兼 高円宮杯全日本ユースサッカー選手権熊本県大会

熊本ユナイテッド SC が優勝

9月23日(木・祝)、県民総合運動公園スポーツ広場で「平成22年度第31回熊本県U-15サッカー総合選手権大会兼高円宮杯全日本ユース(U-15)サッカー選手権熊本県大会」の決勝が行われ、熊本ユナイテッドSCとバレイアサッカークラブU-15が対戦した。

試合は、前半6分ユナイテッドが先制点をあげ、15分にはバレイアが1-1の同点に持ち込んだが、1分後にユナイテッドが追加点をあげ、2-1で前半を終了。

後半、バレイアが健闘したものの、ユナイテッドが3点を追加し、5-1でユナイテッドが高円宮杯では4年ぶりとなる優勝を飾った。

優勝した熊本ユナイテッドSCは、10月9日(土)～11日(月・祝)に大分県で開催される、九州高円宮杯に出場する。

▽決勝

熊本ユナイテッドSC 5-1 バレイアサッカークラブ

<結果>

優勝：熊本ユナイテッドSC

準優勝：バレイアサッカークラブU-15

第3位：FCK MARRY GOLD KUMAMOTO、UKI-C. FC



【写真上】優勝した熊本ユナイテッドSC

【写真下】表彰式で優勝トロフィーを受け取る熊本ユナイテッドSCと準優勝のバレイアサッカークラブU-15

本大会全体を通して、選手のプレーやサポーターのマナーなど、質の向上がみられた大会となった。(3種：喜久川)

この度、社団法人熊本県サッカー協会では設立60周年を記念して「熊本県サッカー協会 60 周年記念誌」を発刊するはこびとなりました。
熊本県サッカーの歴史の中で起こったさまざまなエピソードや経過をこの一冊にまとめ、「蹴夢」として記録に残し、次代へつなぐ資産として発刊いたします。

主な掲載内容

対談
井 薫 + 巻誠一郎
(熊本県サッカー協会会長) (ジェフユナイテッド千葉)

熊本県サッカーのあゆみ
登録チーム紹介「エッセイ 思いを語る」

歴史に残る写真

熊本県サッカー協会紹介
ロアッソ熊本紹介
熊本県サッカー沿革・大会の記録など

仕様詳細

上製本 化粧カバー付 約250頁

お問い合わせ先

(社)熊本県サッカー協会
〒860-0831 熊本市八王寺町9-60
TEL 096-334-5565

販売価格
(1冊)
5,160円
送料別

KUMAMOTO ASSOCIATION FOOTBALL 60TH ANNIVERSARY

60

感動! そして夢と希望を...

平成21年11月24日(木)

熊本県サッカー協会
60周年記念誌発刊!

販売中

Category 4 小学

第 34 回全日本少年サッカー大会 ソレッソ熊本は全国ベスト 8

第 34 回全日本少年サッカー大会（8 月 1 日～8 月 7 日・福島、東京）に出場した県代表ソレッソ熊本ヴィットーリアは決勝トーナメントに進出した。

準々決勝で柏レイソル U-12（千葉県）に PK 戦（4-5）の末、惜敗したものの、初出場で見事全国ベスト 8 の成績だった。

ソレッソ熊本ヴィットーリアは 1 次ラウンド G 組（6 チーム総当りで上位 2 チームが決勝トーナメント進出）を 3 勝 2 分けで 1 位通過。4 日に行われた決勝トーナメント 1 回戦ではシーガル広島（広島県）に 2-0 で勝利した。

準々決勝で柏レイソル U-12（千葉県）と対戦。開始 2 分、FW 原大知のスルーパスに抜け出した MF 森田洸二郎のシュートで先制。その後、GK 川浪大帆のファインセーブや DF の体を張っ

た守備でリードを守っていたが後半ロスタイムに同点に追いつかれ、PK 合戦での敗退となった。

（4 種：広川）

＜ソレッソ熊本戦績＞

「1 次ラウンド」

ソレッソ熊本 VS 宇久井（和歌山）4-0

ソレッソ熊本 VS レオネ山口（山口）3-0

ソレッソ熊本 VS 高部 JFC（静岡）1-0

ソレッソ熊本 VS 丸亀 FC（香川）0-0

ソレッソ熊本 VS JACPA 東京 FC（東京）0-0

「決勝トーナメント」

ソレッソ熊本 VS シーガル広島（広島）2-0

ソレッソ熊本 VS 柏レイソル U-12（千葉）1-1 PK（4-5）

埼玉国際ジュニアサッカー大会報告

熊本県トレセン U-12 田上潤一郎

今回で 8 回目を迎えた今大会。熊本県トレセンとしての参加も今回で 6 回目となった。

今年の大会には都県の選抜 12 チームをはじめ、海外の招待チーム等、レベルの高い 24 チームが参加したが、24 チーム中 6 位という過去最高の好成績で本大会を終了することができた。

1 次リーグは沖縄、愛知と熊本の 3 チームによるリーグ戦。37℃を越す悪条件にもかかわらず、選手たちは高い位置から積極的にプレッシャーをかけ、いい形でボールを奪い、素早いパス交換で好機をつくり出していく。どちらの試合も一進一退の攻防が続いたが、集中を切らず戦った熊本が接戦を制し、2 連勝で 1 次リーグ 1 位突破を決めた。

決勝トーナメント 1 回戦の千葉戦は、互いに守備の集中が切れず、なかなかシュートまで持ち込めない時間帯が続いたが、数少ないチャンスで得点した千葉に惜敗した。続くバーレーン王国、タイ王国との試合では、体格差に苦しめられたが、最後まで集中を切らすことなく見事な戦いぶりを見せ

てくれた。

トレーニングで重点的に取り組んできたオフ時のかかわりについては、大会を通し随所に見られ、それがどちらに転ぶか分からない試合の流れを引き寄せる大きな要因にもなった。ただ 1 対 1 の攻防で不用意なミスでピンチを招くなど、技術面を今後さらに磨いていくことの必要性も感じた。選手には、今回の経験を糧に更なる努力を重ねてほしい。

なお最後になりましたが、日頃からトレセン活動にご協力いただいている各チームの指導者の皆様、この場を借りてお礼申し上げます。



Category

5

女子

第 22 回九州レディースサッカー大会 スポーツの森・大津マリノスが全国へ

「第 22 回九州レディースサッカー大会」が、9 月 4 日（土）・5 日（日）沖縄県総合運動公園で開催された。

県勢からは、スポーツの森・大津マリノスが出場し、B グループ予選リーグを 2 位で通過、代表決定戦へ進出した。

代表決定戦では、A グループ 1 位の沖縄県レディース（沖縄）と対戦し、前半 0-1 で後半終了間際に同点とし、延長戦となったが決まらず P K 戦の末、4-2 で沖縄県レディースを下し、2 年ぶりに優勝した。

スポーツの森・大津マリノスは、11 月 21 日

（日）～23 日（火・祝）静岡県で開催される「第 22 回全国レディースサッカー大会」に出場する。

<試合結果>

*予選 B グループ

トナカイレディース F C（福岡県） 1-0
スポーツの森・大津マリノス

スポーツの森・大津マリノス 2-0 東谷山
おごじょ（鹿児島県）

*代表決定戦

スポーツの森・大津マリノス 1-1（延長 0-0）（P K 4-2） 沖縄県レディース（沖縄県）

第 14 回女子ユース (U-18) サッカー選手権

MELSA 熊本 FC アマールが優勝

「第 14 回熊本県女子ユース (U-18) サッカー選手権大会」は、1 回戦が 7 月 17 日（土）に菊陽町民グラウンド、準決勝と決勝戦が 7 月 18 日（日）に阿蘇の司ビラパークホテル a s o v i g o で開催され、MELSA 熊本 FC アマールが熊本ユナイテッド S C を 2-1 で下し優勝した。

MELSA 熊本 FC アマールは、来年 1 月に熊本県で開催される「第 14 回全日本女子ユース (U

-18) サッカー選手権大会」の出場権を獲得し、熊本ユナイテッド S C は、11 月に佐賀県で開催される九州大会に出場する。

<結果>

優勝：MELSA 熊本 FC アマール

準優勝：熊本ユナイテッド S C

第 3 位：宇土市立鶴城中学校女子サッカー部、
ほくぶ総合スポーツクラブ クレスト

第 20 回女子ユース (U-12) サッカー選手権

マリーゴールドと MELSA が九州大会へ

「第 20 回熊本県女子ユース (U-12) サッカー選手権大会」が、9 月 11 日（土）・12 日（日）に菊陽杉並木公園さんさんにて開催された。

初日は、県内から 7 チームが出場し予選リーグを行い、A パートからは FCK MARRY GOLD KUMAMOTO レディースと熊本ユナイテッド S C エーマが、B パートからはプエルタ熊本 F C L と MELSA 熊本フットボールクラブボニータが、決勝リーグへ進出した。

2 日目は、決勝リーグの 6 試合を行い、2 勝 0 敗 1 分となった FCK MARRY GOLD KUMAMOTO レディースが優勝した。

優勝した FCK MARRY GOLD KUMAMOTO レディース及び、2 位の MELSA 熊本フットボールクラブボニータは、12 月に宮崎県で開催される九州大会に出場する。

<結果>

優勝：FCK MARRY GOLD KUMAMOTO レディース

準優勝：MELSA 熊本フットボールクラブボニータ

第 3 位：熊本ユナイテッド S C エーマ



FCK MARRY GOLD レディースと MELSA 熊本 FC ボニータ

Senior シニア

熊本県選抜 2 回目の準優勝 日本スポーツマスターズ (0-40)

全国各地域から16チームが参加した「日本スポーツマスターズ (0-40) 2010 サッカー競技」は、9月18日 (土) ~ 21日 (火) に三重県鈴鹿市で開催された。

九州ブロック代表の熊本県選抜は、見事準優勝を獲得した。

C グループを1位で通過した熊本は、決勝では

前半にPKを与え、その1点を返せないまま兵庫県シニアに優勝を譲った。

<結果>

優勝：兵庫県シニア 40 (関西1・兵庫)

準優勝：熊本県選抜 (九州・熊本)

第3位：マリソル松島タック 40 (東北2・宮城)、ニコルスFCシニア (関西2・大阪)



<熊本県選抜メンバー>

1 GK 鎌田 義博
2 DF 川上 茂樹
3 DF 松枝 茂
4 DF 吉田 高広
5 DF 岡崎 浩二
6 MF 石井 誠志
7 MF 吉永 顕治

8 MF 安永 耕治
9 MF 澤田 誠
10 DF 島崎 修
11 FW 宮田 勇
12 MF 井村 幸雄
13 MF 中山 靖隆
14 FW 水上 美徳

15 MF 鈴木 博司
16 DF 上村 克宏
17 FW 中尾 大三郎
18 FW 宗像 秀成
19 FW 丸尾 俊邦
20 FW 南 正治
監督 白井 輝夫

熊本県シニアリーグ順位決定戦

ランザ熊本シニアが優勝

第19回熊本県シニアサッカーリーグは8月29日 (日)、県スポーツ広場と八代多目的広場で順位決定戦を行い、ランザ熊本シニアが熊本ベアーズを1-0で下し優勝した。

得点王には18得点でランザ熊本シニアの南正治が輝いた。また、熊本ベアーズの山本武道が高齢者得点賞を獲得した。



リーグ戦で対戦するNTTシニアサッカークラブと八代シニアサッカークラブ

優勝決定戦			
ランザ熊本シニア	1 - 0	ベアーズ	
3・4位決定戦			
教員団OB	1 - 0	自衛隊シニア	
5・6位決定戦			
南園Zシニア	2 - 0	荒・玉トシトラース	
7・8位決定戦			
ルネサンスシニア	3 - 0	ミノタウロス	
9・10位決定戦			
南園Aシニア	3 - 0	県庁イレブン	
11・12位決定戦			
アデルカーズシニア	2 - 1	小川シニア	
13・14位決定戦			
南園Eシニア	3 - 2	N T Tシニア	
15・16位決定戦			
網田シニア	2 - 2 PK 3-1	八代シニア	
17・18位決定戦			
熊本四十雀	4 - 1	宇土クラブ	

順位表	
優勝	ランザ熊本シニア
準優勝	ベアーズ
3位	教員団OB
4位	自衛隊シニア
5位	南園Zシニア
6位	荒・玉トシトラース
7位	ルネサンスシニア
8位	ミノタウロス
9位	南園Aシニア
10位	県庁イレブン
11位	アデルカーズシニア
12位	小川シニア
13位	南園Eシニア
14位	N T Tシニア
15位	網田シニア
16位	八代シニア
17位	熊本四十雀
18位	宇土クラブ

郡市協会

第 65 回県民体育祭

八代市が 10 年連続優勝

9月18日(土)・19日(日)の両日、「第65回県民体育祭荒尾大会サッカー競技」が開催された。この大会、10連覇をめざす八代市と他の郡市・市の対戦が大きな見どころのひとつであった。

決勝戦は、順当に勝ち上がってきた八代市と、激戦を勝ち抜いてきた玉名郡との対戦になった。立ち上がりは、両チームとも様子見の展開であったが、後半12分八代市がミドルシュートで先制すると、すぐに玉名郡が個人技で1点を返し同点。そのまま延長戦へとともつれこんだ。

延長前半は、ともに1点ずつを入れ、勝負は、延長後半へと持ち込まれた。玉名郡が1点を入れ、このまま試合終了かと思われたロスタイム、八代市が放ったシュートは玉名郡の必死のディフェンスをくぐりぬけ、劇的な同点ゴールとなった。ここで試合終了。勝負は、PK戦へとともつれこんだ。

先攻の玉名郡は、1本目を外し万事休す。3本とも落ち着いて決めた八代市が、この大会10連覇を成し遂げた。

最後に、この大会の運営にあたっていただいた



荒尾市サッカー協会の皆様には、深く感謝を申し上げます。特に、今回から実施された3人審判制への取り組みでは、自主的に何回も講習会を実施されるなど、頭の下がる思いであった。

(郡市協会：宮本)

<試合結果>

▽準決勝 八代市 5 - 1 菊池郡市
玉名郡 4 - 1 玉名市

▽決勝 八代市 3 (PK 3 - 2) 3 玉名郡
(八代市は10年連続23度目の優勝)

<結果>

優勝：八代市
準優勝：玉名郡
第3位：玉名市、菊池郡市

審判

C級トレセン開校 昇級試験での上級目指し活動

平成22年7月15日、熊本農業高校会議室において、本年度のC級トレセン開校式が行なわれた。前回までは3級審判員のみを対象とした活動だったが、今年度からは新たに3級インストラクターが加わった。



冒頭に山城審判委員長からの激励を受けた。3級審判員15名と3級インストラクター6名が共同して上級を目指して活動を行なう。

受講生はこれから年に4回の合同研修会により研鑽を積み、年度末の昇級試験に臨む。



審判

2級審判員と2、3級インストラクター合同研修会 心肺蘇生法やAED取り扱いも

9月3日、4日に大津町運動公園において、県内を中心に九州内から2級審判員及び2級、3級インストラクターの総勢62名が一同に介し、合同研修会を開催した。

研修会初日の冒頭では、県協会審判委員長でかつ九州協会審判委員長でもある山城大氏を講師として、日本サッカー協会の今後の方向性についての説明及び今年度の新たなルール改正の講義を受けた。その後、栄永氏、坂口氏及び藤島氏の3名がプレゼンテーションを行い、それを受けて参加

者間で議論を行った。後半では、ルールテスト及び体力テストを実施し、全出席者が参加した。

2日目は本田技研グラウンドに場所を移し、インストラクターの指導によるプラクティカルトレーニングが行なわれた。審判員が競技者となり、ペナルティキックの状況で発生した事象をどう対応するかを実践的にトレーニングした。最後に専門知識を備えた2名の審判員を講師として、緊急時の心肺蘇生法やAEDの取り扱いについての研修を行ない、合同研修会は終了した。

3級インストラクター認定講習会開催

昨年に引き続き2度目となる3級審判インストラクター認定講習会が、9月12日に大津町生涯学習センターにおいて今年も行なわれた。

佐賀県から日本サッカー協会1級審判インストラクターの大庭弘毅氏を講師としてお迎えし、熊本県内各地から男女合わせて7名の受講生が参加した。

講習会ではインストラクターに求められる役割等についての講義を受け、筆記テストを経て全員が3級審判インストラクターとして認定された。

審判委員会指導部では県内の各地区にインストラクターの配置を推進しており、地域からの審判技術の底上げや新たな人材の発掘を目指して活動を続けていく。

強化審判員全国大会派遣報告

【2級審判員】小篠怜央

Jヴィレッジで行なわれたadidas CUP 2010に審判員として参加しました。

大会には自分と同じ2級審判員や女子1級審判員が全国各地から参加しており、一緒に試合を担当させていただきました。

私自身は主審1試合、副審2試合、第4の審判員1試合を担当させていただきましたが、どの試合後も審判インストラクターだけでなく、同じ会場の審判員とも多くの意見を出し合い、良い研修になりました。また、実戦を通しての研修だけでなく、全体ミーティングやプラクティカルトレーニング等も行われました。

期間中は文字通り「サッカー漬け」の毎日で、大変有意義な期間を過ごすことができました。

この大会で得た経験を熊本に還元していくとともに、自身のレベルアップに繋げていきたいと思います。

今回このような機会を与えてくださった多くの方々に、感謝申し上げます。

【2級審判員】坂本晋悟

7月30日から8月3日まで沖縄県で開催された全国高校総体サッカー競技に参加しました。

初日のプラクティカルでは「動き・ポジショニング」と「主審と副審との協力」をテーマに、まず副審の旗のシグナルの練習をしました。さまざまな状況から始まるプレーに、主審と副審で協力して判定するという内容で、主審は争点、ボールの位置を視野に入れ、副審の位置も確認することでした。また、副審は、主審の位置、ボール、最終ラインを視野に入れ、判定の援助をするということでした。動きのプラクティカルでは、スローインやフリーキックのシーンを研修し、なぜそこに動いたのかを考えて動くということの大事さが分かりました。

8月1日からの大会では2試合でアシスタントレフェリーを担当しました。その後の反省会で、今回のテーマでもあった主審と副審との協力ということの大事さを改めて知る一方、その難しさも感じました。理解しあうには打ち合わせをしっかりとしな

ければならないと思いました。

今回感じたことを熊本県にフィードバックして、県全体の底上げにつなげていきたいと思います。

【2級審判員】藤島浩樹

今回、第34回全日本少年サッカー大会に、ユース審判員として参加させて頂きました。

前回も参加したので、今回は、この1年間での成長した部分の再確認と、新たな課題の発見、知識の習得ができたかと思い、大会に臨みました。

この大会で学んだ事は、審判員も選手を指導、育成する役割をになっているという事です。これは、指導者の方がレクチャーで話していた事で、改めて考えなければいけない事だと思っています。

技術面でも、インストラクターの方から、いろんな知識を教えてもらうことができました。

今回、この大会に参加して、とても勉強させて頂きました。ここでの経験を、今後の審判活動に生かしていきたいです。

キッズ

キッズエリート 2 県交流会 食事の後片付けなど生活面も成長

7月31日(土)・8月1日(日)、阿蘇の司ビラパークホテル内のサッカーフィールド a s o v i g o と阿蘇市農村公園あびかで、佐賀県・熊本県のキッズエリート(U-10・11)を対象とした、「二県サッカー交流会」を開催した。

この交流会は、他県との交流を目的に毎年8月と2月に各県で開催しており、熊本県からU-10の22名、U-11の27名が、佐賀県からU-10の22名、U-11の15名が参加した。

今回は、5月から計4回実施したクーバー・コーチングによる定期トレーニングの締めくくりとして、交流試合だけでなく、トレーニングを行い、引き続き試合を行うことでトレーニングの成果を試合で発揮しやすい場の設定を行った。

トレーニングでの課題を即試合で発揮することはなかなか難しいようだが、意識してトライすることで何度かトレーニングの成果が見受けられた。

また、トレーニングの一環として、これまで取り組んできた食事のとり方や後片付け、忘れ物、積極的にコミュニケーションをとることなど、生活面においても子どもたちの成長がうかがえた。

今回、クーバー・コーチングや a s o v i g o スタッフ、地元の阿蘇清峰・阿蘇・阿蘇中央高等学校サッカー部にも協力してもらい、充実した2日間となった。U-11は、今回でエリートでの取り組みを終了したが、今後の子どもたちの活躍を期待したい。(キッズプロジェクト)



エリート定期トレーニング

キッズプロジェクトでは、昨年度に引き続き、今年度もU-10・11のキッズエリートを対象に、5月から7月にかけて、全4回の定期トレーニング(前期)を実施した。

今回も指導者にクーバー・コーチングのスタッフを迎え、

県トレセン(4種)の指導スタッフとも連携しながら、個々のスキルとグループ戦術のスキルアップを目指し、トレーニングに励んだ。

後期は、U-9・10を対象に10月から2月にかけて実施する予定。



キッズサッカー交流会開催決定

昨年度に引き続き、今年度も年長～小学4年生を対象とした「2010熊本県キッズサッカー交流会」の開催が決定した。コースは、昨年より2コース増え、県内各地で全10コース。各コースそれぞれ6回の予定で、9月～12月の期間に開催される。

<目的>

*日ごろ運動経験の少ない10歳以下の子供達を対象に、ボール遊びを中心としたトレーニングを継続して経験させる。

*天然芝及び人工芝のグラウンドを使用し転んでも痛くないことから思い切り体

を動かすことができ、サッカーを通じて体を動かすのが*面白い・楽しいと感じて運動に興味を持つような子供を育てる。

*色々な運動を経験させて運動能力の向上を図る。

*色んな仲間と体を動かして、友達をたくさん作る。

キッズサッカー交流会 特設ブログ

<http://blog.goo.ne.jp/kidskouryu/>



JFA フットボールデー 2010

supported by

KIRIN



9月23日(月・祝)に県民総合運動公園いこいの広場で、今年で3回目となる「JFAフットボールデー2010 Supported by KIRIN/adidas ～みんなで遊ぼう KUMAMOTO～」が開催された。

会場となった県民総合運動公園は、J2第27節ロアッソ熊本vs横浜FCや、くまもとサッカーフェスタ、ジュニアサッカー・ロアッソ杯、高円宮杯全日本ユースサッカー選手権熊本県大会決勝、熊本県専修学校各種学校連合会サッカー大会などが開催され、多くのサッカーファミリーが訪れるサッカー三昧の一日となった。

開会式では、県サッカー協会の井薫会長の挨拶や、(財)熊本県スポーツ振興事業団による準備体操が行われた後、各イベントが始まった。

ロアッソ熊本との対決をかけた「第3回ロアッソ杯PK大会」では、32チームが参加し、白熱した戦いが繰り広げられた。上位チームは、サッカーボールやトロフィー・盾が贈られ、優勝の熊本FCは、同日開催されたJ2第27節の前座イベントで、ロアッソ熊本の選手とKKWINGのピッチでPK対決をした。

<PK大会結果>

優勝：熊本FC

準優勝：エスペランサ

第3位：尾ノ上、フェニックスA

フットボールパークでは、ルネサンス熊本FCの選手とゲームをしたり、スピードガン・シュートターゲットで記録に挑戦するなど、キッズからシニアまでたくさんの人がアトラクションを楽しんだ。

また、高円宮杯決勝戦が行われたスポーツ広場では、試合後3種チームと指導者によるPK合戦が行われた。

閉会式では、ロアッソ熊本選手とのじゃんけん大会が開催され、勝者にはロアッソ熊本選手のサイン入りボールがプレゼントされた。(事業委員会)



事務局

新法人移行検討プロジェクト活動報告 一般社団法人移行へ検討進む

平成20年12月1日より施行された新公益法人制度改革に伴う3つの法律により、平成25年11月30日までに「公益社団法人」か「一般社団法人」に移行する必要が出てきました。これにより、県協会は平成22年3月の理事会において、「新公益法人制度検討委員会」を立ち上げることを決議し、そのメンバーとして下記の者を選定し、約1年から2年かけてそのメンバーにより県協会の組織、事業、財務等の見直しをし、必要な手続を行うこととしました。

本年4月12日に常務理事以上の役職者及び総務委員長並びに検討委員会委員への新公益法人制度の説明会を行い、第1回の5月10日の検討委員会において、公益社

団法人一般社団法人のメリット、デメリットを把握し、協会の現状と照らしてどちらの方向へ進むかを検討した結果、一般社団法人に移行認可を受ける方向としました。

同年5月18日の理事会及び5月29日の通常総会において、藤山常務理事及び北岡専務理事が、検討委員会において一般社団法人に移行しようとするに決した報告及び監督官庁への申請手続における会員に対する協力依頼を行いました。

その後、検討委員会を毎月1回のペースで開催し、一般社団法人に移行するための定款変更案の検討を行い、第5回の会議をもって定款変更案の検討は終了しました。

今後は、その定款に付随する規則及び規程等の案を検討する予定となっております。

来年度の総会前の理事会及び通常総会において、一般社団法人熊本県サッカー協会へ移行するための定款変更案が提案できると考えております。しかし、今後、来年度の事業計画及び予算案の作成や今年度の事業報告及び決算をする時期が近づいて来ると、なかなか作業が進まなくなる可能性もあるため、各種別委員会の委員長にはご協力の程よろしくをお願いします。

◆新公益法人制度検討委員会メンバー(7名)

河野副会長、北岡専務理事、今田常務理事、緒方監事、満田理事、星津特命理事、藤山常務理事(事務担当責任者)

第 65 回国民体育大会「ゆめ半島千葉国体」

九州ブロック予選突破 少年男女が出場

9月26日から9月30日に千葉県で行われた第65回国民体育大会「ゆめ半島千葉国体」に、九州ブロック予選を勝ち抜いた少年男子と女子の2チームが出場した。

少年男子はロアッソ熊本ユース、大津高校、ルーテル学院高校、国府高校の選抜選手で構成、1回戦はベガルタ仙台ユースの選手を主体にした宮城県選抜と対戦した。

前半早々に相手の素早いサイド攻撃により先制点を許したが、その後は持ち味のパスとドリブルの堅守速攻を武器に攻撃を仕



掛け、ペナルティエリア内でのファウルによるPKと相手選手の退場により前半を1-1で折り返した。後半は村上順哉のハットトリックもあり、6-2で快勝した。

翌27日の2回戦は、JFAアカデミー福島の選手を主体に構成された福島県選抜と対戦。

激しく冷たい雨と悪いピッチコンディションの下、前半はPKによる失点とキーパーへのバックパスが水たまりで止まる不運もあって2失点。後半は選手交代による攻撃の活性化を図り、積極的な攻撃により相手を上回る試合内容だったが、シュートはバー、ポストを直撃するなど無得点に終わり、健闘むなしく2回戦で敗退した。

女子はMELSA熊本FC、熊本ユナイテッドSC、ルネサンス熊本FCの選抜選手で構成、1回戦は大学生主体の神奈川県と対戦した。

相手のスピードと正確なパスワークに翻弄され、前半4失点、後半は3失点を許し、

激しい雨の中で試合終了まで必死に戦ったが0-7で完敗した。

総括として、少年男子は選手個々のスキルが高く、各チームでの日常の指導や県内のトレセン活動を含めた選手育成は評価に値すると思われる。一方、残念ながら女子は他県との実力差を痛感させられた大会だった。女子選手の指導、育成、強化に関する環境作り等々、今後の熊本県サッカー協会が取り組むべき課題が多いと思われる。(広報委員会)



News & Information

■平成22年度熊本県学生サッカーリーグ／9月12日(日)～11月23日(火・祝)／県内各地

■公認C級コーチリフレッシュ研修会／10月7日(木)・11月4日(木)・12月2日(木)・2月3日(木)・3月3日(木)／県民総合運動公園スポーツ広場、水前寺陸上競技場

■PUMA CUP 2011 第16回九州フットサル選手権熊本大会／10月9日(土)・10日(日)・11月7日(日)・14日(日)／ウイングまつば

■第89回全国高校サッカー選手権熊本県大会／10月10日(日)・17日(日)・24日(日)・30日(土)・11月3日(水・祝)・7日(日)・13日(土)／県民総合運動公園他

■第36回熊日学童オリンピック大会サッカー競技／10月31日(日)・11

月3日(水・祝)・6日(土)・7日(日)・13日(土)・14日(日)／大津町運動公園他

■JFAファミリーフットサルフェスティバル2010 with KIRIN 熊本 in フットサルパーク／11月21日(日)／フットサルパーク熊本

■なでしこサッカーフェスティバル(JFAレディース／ガールズサッカーフェスティバル2010 in くまもと)／11月23日(火・祝)／県民総合運動公園補助競技場

■ユニクロサッカーキッズ! in KKWING／12月11日(土)／県民総合運動公園陸上競技場(KKWING)

■JFAファミリーフットサルフェスティバル2010 with KIRIN 熊本 in カベッサ熊本／12月19日(日)／カベッサ熊本

※日程は変更になる場合があります。

名誉会長	荒木時彌
会長	井 薫
名誉副会長	緒方健司
副会長	藤野健一
副会長	河野等
特別顧問	宮嶋昭二
顧問	倉重剛
顧問	富田豊喜
顧問	前田浩文
顧問	永井隆一
専務理事	北岡長生
常務理事	松崎 正孝(1種委員長)
常務理事	藤山 直秀(財務委員長)

理事 堀行徳(総務委員長)、理事 山城大(審判委員長)、理事 小野龍男(技術委員長)、理事 藤家澄夫(規律・フェアプレー委員長)、理事 満田和浩(事業委員長)、理事 高野定(医科学委員長)、理事 岩本芳久(フットサル委員長)、理事 宮本和史(都市協会担当)、理事 武田昭二(キッズプロジェクトリーダー)、理事 河野忍(強化委員長)、理事 園田建三(ねんりんピック担当)、理事 印南静男(1種委員会社会人部会)、理事 野田秋夫(1種委員会学生部会)、理事 湖田邦彦(1種委員会学生部会)、理事 佐藤良広(2種委員会高校部会)、理事 池田政秀(3種委員会中学部会)、理事 原弘明(3種委員会クラブ担当)、理事 御厨眞(4種委員長)、理事 宮崎雄二(4種委員会)、理事 荒川光夫(女子委員長)、理事 山本武道(シニア委員長)、監事 緒方史郎、監事 中山重臣

副会長	遠山和美
副会長	上野住江
顧問	主海偉佐雄
顧問	緒方司朗
顧問	山本徹

常務理事	今田 周作(事務局長)
常務理事	河田 信之(JFA熊本宇城アカデミー)

DREAM
夢があるから強くなる

2010年10月15日発行

社団法人 熊本県サッカー協会だより 第74号
発行者 社団法人 熊本県サッカー協会

広報委員会 委員長・今田周作

制作 (株)熊本日日新聞社

印刷 (株)城野印刷所

事務局 〒860-0831 熊本市八王寺町9-60

電話 096-334-5565

平日午前9時～午後6時

<http://kumamoto-fa.com/>